

## IAEA プロジェクト：原子力施設のデコミッショニングにおける実際の職業放射線防護に関するガイダンス

2014年より IAEA は、関連する IAEA 安全基準を補完するために、原子力施設のデコミッショニングにおける職業放射線防護に関するガイダンス資料を進展させることを目的としたプロジェクトを実施している。いくつかの国では職業放射線防護に関連したデコミッショニングの経験を有しているが、その他の国にとっては経験がないもの（あったとしても限られたもののみ）であり、よって更なるガイダンスを提供する必要がある。IAEA のこのプロジェクトは 2016 年に完了し、その後 IAEA 技術報告書（TECDOC）として出版される予定である。

今回のこのプレゼンテーションでは、まずガイダンス資料の内容（案）に関する現状の概要について述べ、そして作業者の防護について、原子力施設が運転からデコミッショニングへ移行する際に対処する必要がある重要な問題について例示している。

資料の第 1 章においては、運転からデコミッショニングに移行する際の作業者へのハザード（危険性）を含む一般原則について示し、またデコミッショニング戦略を決定する際に検討する必要があるような、放射線防護の重要な側面や安全文化が変容する可能性について示している。第 2 章においては、デコミッショニングのための放射線防護計画の実施について示しており、これには放射線防護組織の要素や防護の最適化、解体や放射性廃棄物管理の計画についての議論も含まれている。第 3 章においては、サイト準備に関する問題と、放射線特性について示している。第 4 章においては、非放射性ハザードについて検討している。